

HU.NEWS
プレスリリース

坂が多い町・長崎発！暮らしを支える安心安全技術 電動手すりと先進的な姿勢計測技術が、 未来モノづくり国際 EXPO2025 に登場

阪南大学（所在地：大阪府松原市、学長：平山 弘）総合情報学部 松田 健研究室と大阪公立大学 真嶋 由貴恵研究室、信栄工業有限会社（本社：長崎県長崎市、代表取締役：壺山 和久）は、三者合同で研究・開発した「電動手すり」および関連技術を、2025年7月16日（水）から19日（土）にインテックス大阪で開催される「未来モノづくり国際 EXPO 2025」に出展します。

地元企業、大学、高校がタッグを組み、『まちの未来共創ユニット』を形成し、地域課題に向き合うリアルな産学連携のかたちをお見せします。未来を担う若い力が、社会に必要とされる技術と現場感覚を育む場となっています。ぜひ、未来モノづくり国際 EXPO 2025 の会場でご覧ください。

■三者合同プロジェクトと出展技術について ～一人ひとりに合わせた“使いやすい手すり”の科学～

本プロジェクトは、長崎市の急傾斜地に暮らす人々の移動支援を目的とし、地域課題の解決に取り組む産学連携活動として推進してきました。展示ブースでは、信栄工業有限会社が開発・設置実績を持つ電動手すりに加え、阪南大学松田研究室と大阪公立大学真嶋研究室が共同開発中の、ユーザ個人に最適化された安心・安全な電動手すりの設計手法を紹介します。

本展示では、松田研究室が開発した座位姿勢を計測する技術を応用し、電動手すりを使用する際の最適な「手すりの高さ」をデータに基づいて導き出す試みを紹介します。人の体格や姿勢に応じて、手すりの持ちやすい高さは異なるため、高さの調整によって両足にかかる負荷がどのように変化するかを測定し、その人にとって最も負担の少ない使い方を提案する技術です。

■大学生・高校生が展示会の補助スタッフとして参画

今回の出展では大学生たちがプロジェクトメンバーとして、センサーの組み立てやデータの収集・管理、さらに必要な部品の調達・在庫管理など、開発工程の実務にも携わっています。単なる補助ではなく、ものづくりの中核に関わることで、学生たちは座学では得られない「ものづくりのリアル」を現場で体感しています。展示ブースの運営サポートにも挑戦し、自らの手で生み出した技術を来場者に伝える役割も担います。

さらに、モノづくりに強い関心を持つ阪南大学高等学校の生徒2名も、展示会スタッフとして参画。生徒たちは今後、松田教授のもとでモノづくり研究に本格的に取り組む予定で、今回の展示会はその第一歩として、現場の雰囲気や技術の背景を学ぶ貴重な機会となります。高校生ならではの柔軟な視点や発想も活かしながら、次世代のものづくりに向けた準備を進めています。

■未来モノづくり国際 EXPO2025

日時：2025年7月16日（水）～19日（土）／10：00～17：00

場所：インテックス大阪 大阪市住之江区南港北 1-5-102

主催：未来モノづくり国際 EXPO 実行委員会

その他：入場無料（登録制）

【本件に関するお問い合わせ先・取材申込先】

阪南大学 総務企画課：浮田

電話：072-332-1224（代） FAX：072-336-2633 e-mail：koho@hannan-u.ac.jp